

工学府入学試験の変更について（博士課程前期・後期）

工学府では、博士課程前期・後期ともに、平成22年度入学試験及び平成21年度10月入学の入学試験より、筆記試験選抜における外国語（英語）の試験を以下のとおり変更いたします。

また、平成23年度入学試験及び平成22年度10月入学の入学試験からは、「TOEIC、TOEFLのスコアを用いる」のみに変更いたします。

詳細については募集要項にて案内いたしますが、受験希望する人は十分に注意して下さい。

【平成22年度入学試験及び平成21年度10月入学の入学試験】

工学府入学試験における外国語（英語）の試験は、「TOEIC、TOEFLのスコアを用いる」か「学府共通の外国語（英語）を受験するか」のいずれか一方を出願時に選択する。

〔TOEIC、TOEFLスコアを選択する場合〕

- ・利用可能な種類（以下のスコアシート（原本）を提出すること）

TOEIC または TOEIC - IP

TOEFL (PBT、CBT、iBT、ITP)

- ・TOEICのスコアは下記の関係を用いて100点満点に換算し外国語（英語）の点数とする。

換算方法（TOEICベース）

349点以下： 0点

350～500点： $(\text{TOEIC}-350)/3$ 、 0～ 50点

500～800点： $(\text{TOEIC}-500)/6+50$ 、 50～100点

801点以上： 100点

- ・外国語（英語）の試験でTOEIC、TOEFLのスコアを選択した受験生は、学科試験当日に合計得点の最も高い成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書またはスコアシートは学科試験当日から起算して3年以内のものとする。これらの提出がない場合は外国語（英語）の試験の点数を0点とみなす。
- ・TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、TOEFLの得点を以下の方法によりTOEICの得点に換算する。

TOEFL-iBTとTOEFL-CBTの得点はEducational Testing Service (ETS)のウェブサイトにある換算表によりTOEFL-PBTの得点に換算する。TOEFL-ITPの得点はTOEFL-PBTの得点とみなす。

TOEFL-PBTの得点は、 $(\text{TOEFL-PBT得点} - 296) \div 0.348 = \text{TOEIC得点}$ によりTOEICの得点に換算する。

- ・小数点以下の得点は四捨五入する。

[学府共通の外国語（英語）の試験を選択する場合]

- ・所定の外国語（英語）の試験問題にて受験すること。

【平成23年度入学試験及び平成22年度10月入学の入学試験】

工学府入学試験における外国語（英語）の試験は、「TOEIC、TOEFLのスコアを用いる」のみとします。受験当日に外国語（英語）の試験は実施しません。

TOEIC、TOEFLのスコアの利用可能な種類、スコアの換算方法は、上記と同じです。

（以上）